

2024 年 6 月 27 日 一部改正
2024 年 1 月 30 日 技術委員会 審議
2024 年 5 月 31 日 国土交通大臣 認可

海底資源掘削船におけるガス検知警報装置の設置場所

改正対象

鋼船規則 P 編

改正理由

IACS 統一規則 (UR) D11 では、海底資源掘削船における消火設備に関する要件を規定しており、本会は当該要件を既に鋼船規則 P 編に取入れている。

IACS は、海底資源掘削船に要求される固定式ガス検知警報装置の設置場所を明確化するべく、IACS UR D11(Rev.4)を 2021 年 12 月に採択したが、その後、明確化した規定の一部に、設置場所に関する誤解を生む表現があることが確認された。

このため、固定式ガス検知警報装置の設置場所に関する規定の修正が行われ、2022 年 12 月に IACS UR D11(Rev.4/Corr.1)として採択した。

今般、IACS UR D11(Rev.4/Corr.1)に基づき、関連規定を改める。

改正内容

海底資源掘削船に要求される固定式ガス検知警報装置の設置場所に関する規定を修正する。

施行及び適用

2023 年 1 月 1 日以降に建造契約が行われる海底資源掘削船に適用

ID: DX23-12

「海底資源掘削船におけるガス検知警報装置の設置場所」 新旧対照表

新	旧	備考
鋼船規則 P 編 海洋構造物等 15 章 消火設備 15.2 海底資源掘削船 15.2.11 ガス検知警報装置 -1. 可燃性ガス検知警報装置 (1) 可燃性ガスの蓄積が予想されるすべての閉囲された場所を連続して監視するために、本会が適当と認める固定式ガス自動検知警報装置を設けなければならない。少なくとも次の(a)から(g)の場所には、固定式ガス自動検知警報装置を設けなければならない。 (a) セラーデッキ (b) 掘削用甲板 (c)陽圧状態の掘削機器操作室における通風装置の吸気口 (d) マッドピット (e) シェールシェーカーの設置される場所 (f) 掘削泥水循環システムのベルニップルからマッドピットまでの間の装置で開口を有するものが設置される閉囲区画 (g) 居住区域の通風装置の吸気口 (h) 危険場所に隣接し、内燃機関、ボイラ又は非防爆の電気機器が収容される閉囲された機関区域の通風装置の吸気口 (i) 内燃機関、ボイラ、コンプレッサー又はタービンを含む全ての燃焼機関及び機械類の吸気口であ	鋼船規則 P 編 海洋構造物等 15 章 消火設備 15.2 海底資源掘削船 15.2.11 ガス検知警報装置 -1. 可燃性ガス検知警報装置 (1) 可燃性ガスの蓄積が予想されるすべての閉囲された場所を連続して監視するために、本会が適当と認める固定式ガス自動検知警報装置を設けなければならない。少なくとも次の(a)から(g)の場所には、固定式ガス自動検知警報装置を設けなければならない。 (a) セラーデッキ (b) 掘削用甲板 (c) 内部の圧力を陽圧とすることで爆発を防止する構造とした掘削機器操作室の通風装置の吸気口 (d) マッドピット (e) シェールシェーカーの設置される場所 (f) 掘削泥水循環システムのベルニップルからマッドピットまでの間の装置で開口を有するものが設置される閉囲区画 (g) 居住区域の通風装置の吸気口 (h) 危険場所に隣接し、内燃機関、ボイラ又は非防爆の電気機器が収容される閉囲された機関区域の通風装置の吸気口 (i) 内燃機関、ボイラ、コンプレッサー又はタービンを含む全ての燃焼機関及び機械類の吸気口であ	IACS UR D11.7.1 c)

「海底資源掘削船におけるガス検知警報装置の設置場所」 新旧対照表

新	旧	備考
<p>って、閉囲された機関区域の外部に設置されるもの</p> <p>(j) 居住区域へ通じる出入口の扉</p> <p>(k) 開口部に自動閉鎖型でガス密の閉鎖装置が備え付けられているかどうかに関わらず、居住区域の緊急避難口を含むその他の開口付近</p> <p>((2)から(4)は省略)</p>	<p>って、閉囲された機関区域の外部に設置されるもの</p> <p>(j) 居住区域へ通じる出入口の扉</p> <p>(k) 開口部に自動閉鎖型でガス密の閉鎖装置が備え付けられているかどうかに関わらず、居住区域の緊急避難口を含むその他の開口付近</p> <p>((2)から(4)は省略)</p>	
<p>附 則</p> <p>1. この規則は、2024年7月1日から施行する。</p> <p>2. 2023年1月1日より前に建造契約*が行われた海底資源掘削船にあつては、この規則による規定にかかわらず、なお従前の例による。</p> <p>* 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement (PR) No.29 に定義されたものをいう。</p> <p style="text-align: center;">IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">英文 (正)</p> <p>1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.</p> <p>2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder.</p> <p>For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:</p> <p>(1) such alterations do not affect matters related to classification,</p> <p style="text-align: center;">or</p> <p>(2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">仮訳</p> <p>1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込み者によって、船級協会に申告されなければならない。</p> <p>2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあつては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。</p> <p>(1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、</p> <p>(2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。</p> </div> </div>		

「海底資源掘削船におけるガス検知警報装置の設置場所」 新旧対照表

新	旧	備考
<p>The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.</p> <p>3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.</p> <p>4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.</p> <p>Note: This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.</p>	<p>オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。</p> <p>3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1.及び 2.に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。</p> <p>4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。</p> <p>備考： 1. 本 PR は、2009 年 7 月 1 日から適用する。</p>	